

「ほっとけない 世界のまずしさ」キャンペーン
緊急プレスリリース No.3 2005年9月14日



国連 2005 ワールドサミットを世界の貧困解消の第一歩に ニューヨークで広がる市民社会のアクション

国連ワールド・サミットが開幕した9月14日、国連本部のまわりでは、各種の団体による様々なアクションが展開されています。世界の貧困の解消を訴える各種イベントも開催されています。また、貧困解消に向けた歴史的な一歩を踏み出そうとしない国際社会に対して、世界の注目を集めるためのパフォーマンスなども計画されています。以下紹介します。

- 「ミレニアム・ゴール」達成に向けて動かない各国政府：ハマースホルド・プラザで NGO がスタント（風刺パフォーマンス）実施を予定＝9月16日

今回のサミットでは、成果文書の内容が大きく後退し、2000年のミレニアム宣言・ミレニアム開発目標の達成促進という本来の意味が失われつつあります。GCAP（Global Call for Action against Poverty：貧困解消に向けた世界最大のネットワーク）では、9月16日（金）午前9時より、ミレニアム開発目標達成に及び腰な国際社会を風刺する大きなパフォーマンス・イベントを実施します。場所・時間は以下の通りです。ぜひともご取材をお願いします。

- 日時：9月16日（金）午前9時～10時
- 場所：ダグ・ハマースホルド・プラザ（マンハッタン47th St, 1st-2nd Ave）

■ 貧困削減に向けた二つの3日間イベント

今回のサミット実施と平行して、貧困解消への前進を訴える3日間ぶっ続けのイベントが、上記ダグ・ハマースホルド・プラザとユニオン・スクエア（マンハッタン14th St, Lexington Ave）で開催されています。ハマースホルド・プラザでのイベントは、「あなたの声を届けよう」（Make your voice heard）と題された3日間連続の集会・パフォーマンスで、本日は南アフリカのノーベル平和賞受賞者であるデズモンド・ツツ大司教からのスピーチもありました。16日の午後（2時～4時）には、南アフリカの司教をはじめとする著名な宗教家なども参加して、締めくくりのイベントが開催されます。

一方、ユニオン・スクエアでは、サミットに向けて多くの人々の声を首脳に届けようということで、市民社会のメッセージを集めるイベントが展開されています。こちらも、通行する人々の注目を引く形でセットされており、興味深いイベントになるのではないかと期待されます。

- 本件プレスリリースに関する問い合わせは「ほっとけない 世界のまずしさ」キャンペーン ニューヨーク派遣員の稲場雅紀まで：メール masaki.inaba@gmail.com, 携帯 347-200-9451
- GCAP への問い合わせは：Ciala Gaynor 646-331-6982, Nicky Wimble 858-205-8721 Kate Norgrove 858-205-8734 まで